

1
2
3

2. 受水市町の基本情報

受水市町の基本情報

宇治市

(単位: m³/日)

4
5

浄水場					水源					配水能力 ※2	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要		
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力 ^{※1}	一日平均 取水量 (R3実績)	状況
宇治浄水場	S52	20,700	薬品沈澱 急速ろ過 消毒	OUT	済	伏流水井	伏流水	S52	5,000	3,092	取水量の季節変動が大きい
						1号井	深井戸	S56	3,360	2,382	安定状況
						2号井	深井戸	H24	3,360	2,684	安定状況
						3号井	深井戸	S54	3,360	2,166	安定状況
						4号井	深井戸	S58	3,360	3,006	安定状況
						5号井	深井戸	S61	3,360	519	取水時の濁りが懸念される
計		20,700				計		21,800	13,849		
西小倉浄水場	H元	5,000	急速ろ過 消毒	しない	計画無	1号井	深井戸	H元	5,350	3,068	安定状況
計		5,000				計		5,350	3,068		
広野町浄水場	R3	500	急速ろ過 消毒	しない	不要	取水井	深井戸	R3	600	559	安定状況
計		500				計		600	559		
神明浄水場	S32	1,100	消毒	しない	不要	3号井	深井戸	S50	1,155	429	安定状況
計		1,100				計		1,155	429		
池尾浄水場	H12	8.8	急速ろ過 消毒	しない	計画有	取水井	深井戸	H12	9.7	5.3	安定状況
計		8.8				計		9.7	5.3		
合計		27,309				合計		28,915	17,910		

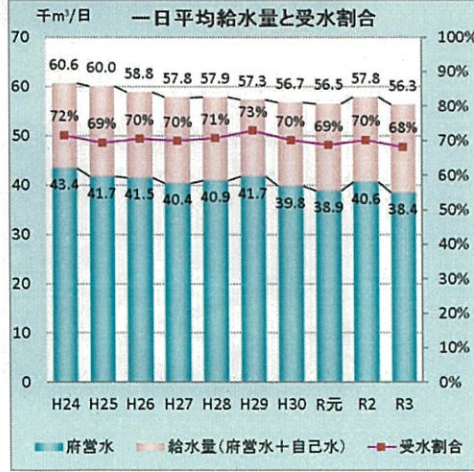
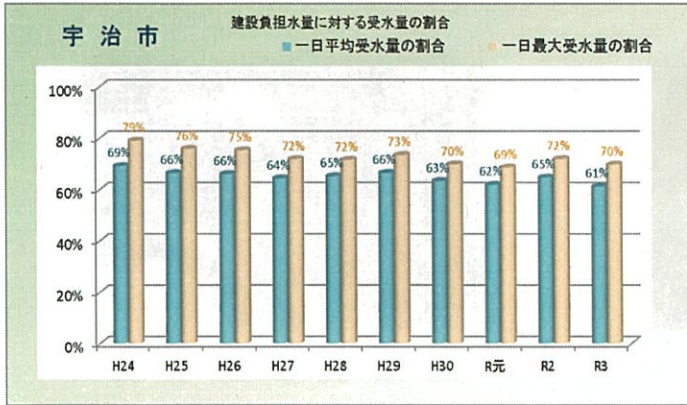
※1 令和3年度末の能力
※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

府営水道の受水割合や受水量についての考え方

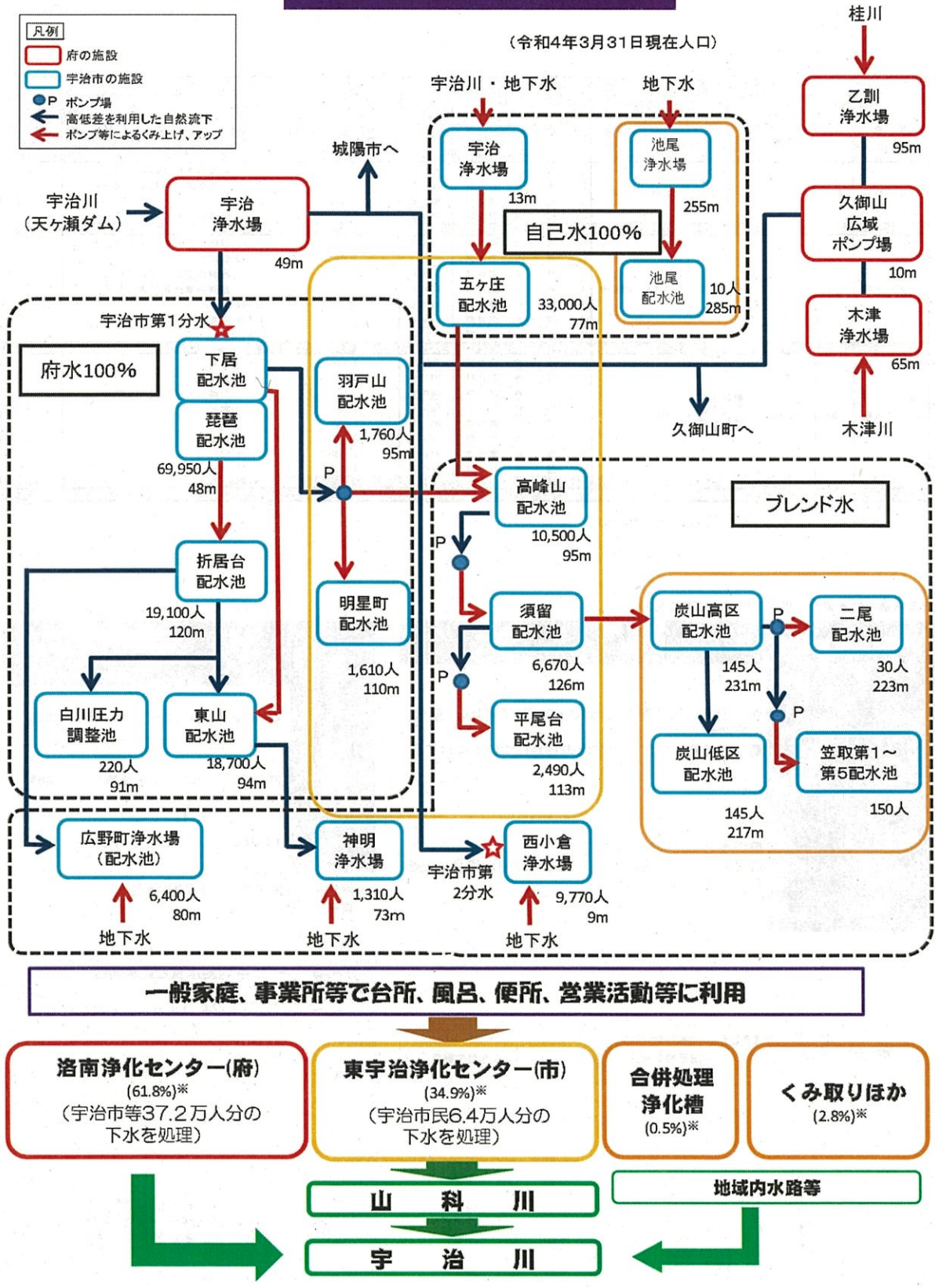
給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■今後の水需要の減少や、東日本大震災、京都府南部地域豪雨災害を教訓に災害時の自己水(地下水)の重要性を踏まえた府営水の受水割合とする		
	②府営水道区域			
	③自己水区域			
最大給水量	①ブレンド区域	■需要変動を府営水・自己水で対応		
	②府営水道区域	■需要変動を府営水で対応		
	③自己水区域	■需要変動を自己水で対応		

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設 利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	90,109	57,831		64%
自己水	27,309	17,216	(30%)	63%
府営水	62,800	40,615	(70%)	65%

※府営水：府営水道における測定水量
自己水＝全体－府営水



宇治市の水循環マップ



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

城陽市

1

浄水場						水源						配水能力 [m³/日]		
名称	稼働年月	概要		耐腐化		井戸名	種別	稼働年月	概要					
		施設能力	処理方式	診断結果	耐腐対策				実能力 ^{※1}	一日平均 送水量 (R3実績)	状況			
第1浄水場	S48	3,900	砂ろ過 消毒	OK	済	1号井	深井戸	H9.3				設備の老朽化により休止	1,300	
						2号井	深井戸	H13.11				水質が悪化されるため休止		
						3号井	深井戸	H16.6	1,300	1,213	安定			
						4号井	深井戸	S53.6				設備の老朽化により休止		
						計					1,300	1,213		
第2浄水場	S50	6,500	砂ろ過 消毒	しない	計画有	1号井	深井戸	S50.6				設備の老朽化により休止	5,520	
						2号井	深井戸	S54	1,000		773	安定		
						3号井	深井戸	S50.8				設備の老朽化により休止		
						4号井	深井戸	S61.4				設備の老朽化により休止		
						5号井	深井戸	H13.8	1,300		1,046	安定		
						城陽団地井	深井戸	H14.7	1,920		1,506	安定		
						予備井	深井戸	H8.3	1,300		834	安定		
計		6,500			5,520	4,159								
第3浄水場	S55	19,800	薬品は濃 急速る過 自然ろ過 消毒	OUT	済	1号井	深井戸	H2.3	2,600		2,634	安定	19,800	
						2号井	深井戸	H15.5	3,600		789	安定		
						3号井	深井戸	S60.5				設備の老朽化により休止		
						4号井	深井戸	S63.7	3,100		1,425	安定		
						5号井	深井戸	H5.10	3,000		2,662	安定		
						6号井	深井戸	H7.3	3,100		2,380	安定		
						7号井	深井戸	H14.3	2,400		524	安定		
						予備井	深井戸	S55.1	2,640		1,557	安定		
						計		19,800			20,440	12,471		
						合 計		30,200			27,280	17,752		

※1 令和3年度末の能力
 ※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に取水できる能力

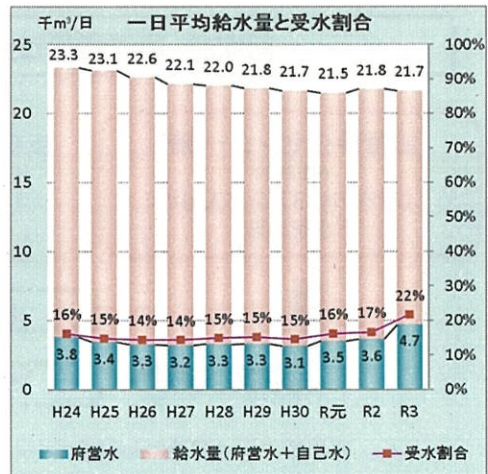
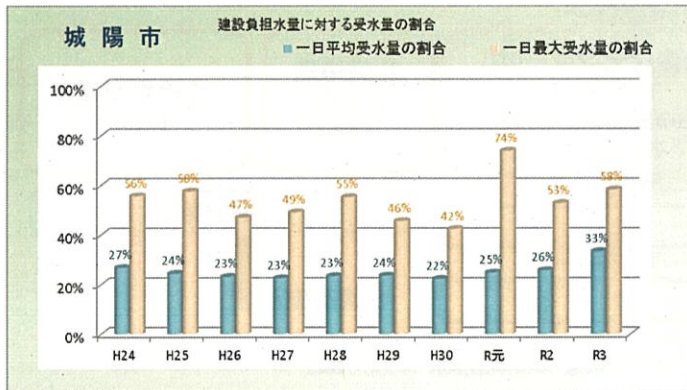
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況	①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域 ■自己水を下限値(17,520m³/日)で運転し、差分を府営水で対応 ■施設の更新時には府営水の増量について検討する		
最大給水量	①ブレンド区域 ■需要変動を府営水で対応 ■井戸を最下限運転し(17,520m³/日)、需要変動を府営水で対応		

(単位: m³/日)

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設 利用率 ②/①
		②	(割合)	
全 体	40,720	21,785		53%
自己水	26,620	18,158	83%	68%
府 営 水	14,100	3,627	17%	23%

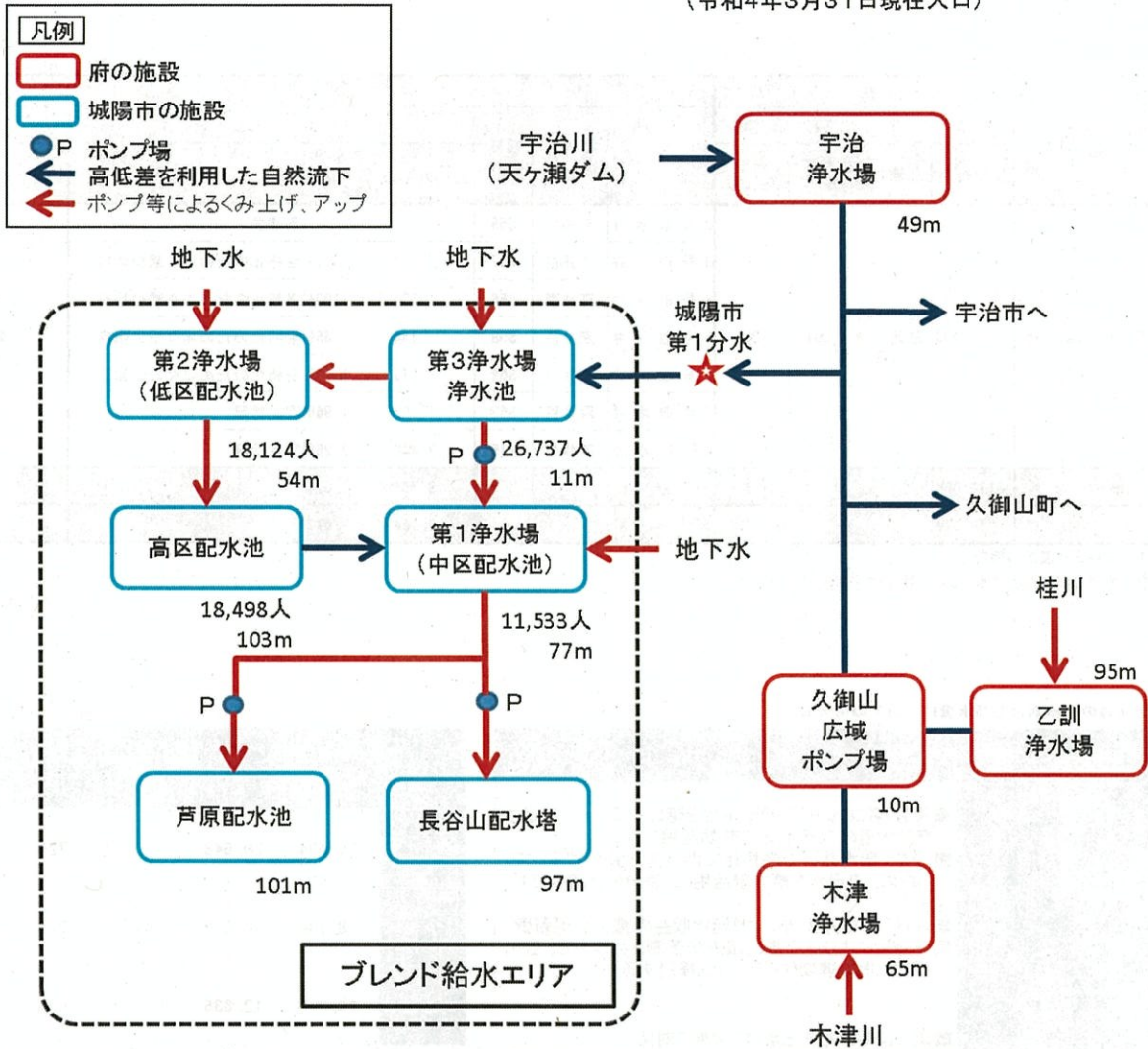
※府営水: 府営水道における測定水量
 自己水=全体-府営水



1
2

城陽市の水循環マップ

(令和4年3月31日現在人口)



一般家庭、事業所等で台所、風呂、便所、営業活動等に利用



※出典:京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

八幡市

1

(単位: m³/日)

浄水場						水源					配水能力 ※2	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要			
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1	一日平均汲上量(R3実績)		状況
美濃山浄水場	S56	16,000	薬品沈澱 急速ろ過 消毒	OUT	済	2号取水井	深井戸	S55			予備井	8,784
						3号取水井	深井戸	S57	720	677	老朽化のため年々減少傾向	
						4号取水井	深井戸	S56	1,104	1,001	老朽化のため年々減少傾向	
						5号取水井	深井戸	S58	744	655	老朽化のため年々減少傾向	
						6号取水井	深井戸	S62	1,776	1,109	老朽化のため年々減少傾向	
						7号取水井	深井戸	S63	1,992	1,966	安定状況	
						8号取水井	深井戸	H15	2,448	2,269	安定状況	
計		16,000			計			8,784	7,677		8,784	
合計		16,000			合計			8,784	7,677		8,784	

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

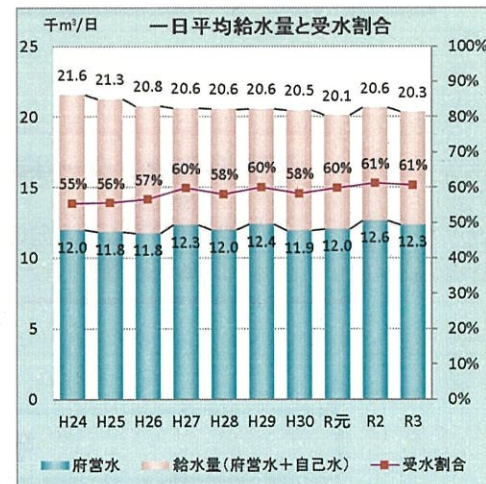
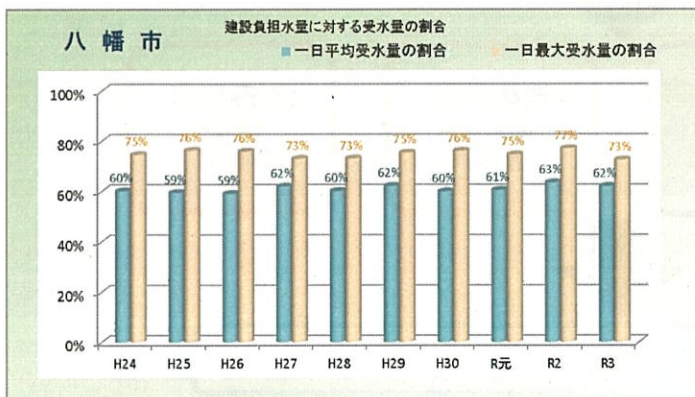
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	<ul style="list-style-type: none"> ■災害等において供給安定性を確保するため、自己水と府営水道の二元水源の有効活用を行う ■現在、取水井戸の老朽化に伴い揚水量が減少しているため、自己水を最大限活用し、差分を府営水で対応する ■今後、人口減少等により給水収益の減少や更新費用の増加により給水量の減少が予測される中で、自己水と府営水の適切なバランスを検討する 		
最大給水量	①ブレンド区域	<ul style="list-style-type: none"> ■需要に対して自己水・府営水で対応 ■府営水の受水量は、過去の1日平均受水量と1日最大受水量の割合から推計 		

(単位: m³/日)

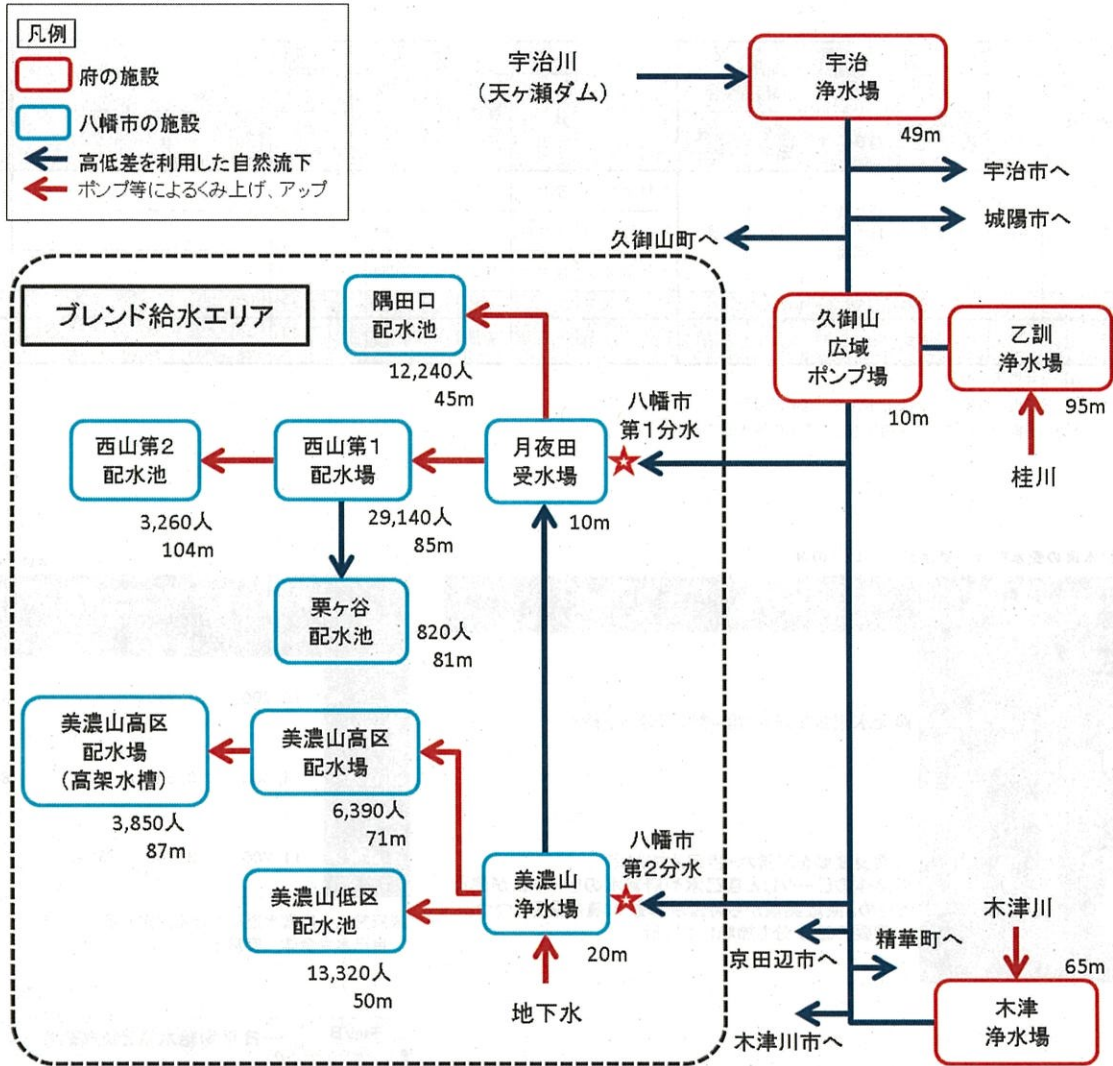
	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	28,684	20,648		72%
自己水	8,784	8,012	(39%)	91%
府営水	19,900	12,636	(61%)	63%

※府営水：府営水道における測定水量
自己水＝全体－府営水



八幡市の水循環マップ

(令和4年3月31日現在人口)



一般家庭、事業所等で台所、風呂、便所、営業活動等に利用

洛南浄化センター(府)
(99.9%)*
(八幡市等37.4万人分の
下水を処理)

くみ取りほか
(0.1%)*

宇治川

※出典：京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

久御山町

1

(単位: m³/日)

浄水場						水源					配水能力 ※3	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要			
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1	一日平均汲上量※2		状況
佐古浄水場	S43	5,000	薬品沈澱 急速ろ過 消毒	OK	済	1号取水井	深井戸	H2			休止中	4,000
						2号取水井	深井戸	S54	2,000	3,483		
						3号取水井	深井戸	S50	2,000			
計		5,000				計			4,000	3,483	4,000	
合計		5,000				合計			4,000	3,483	4,000	

※1 令和3年度末の能力

※2 令和3年度に稼働している取水井戸の総量の日割

※3 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

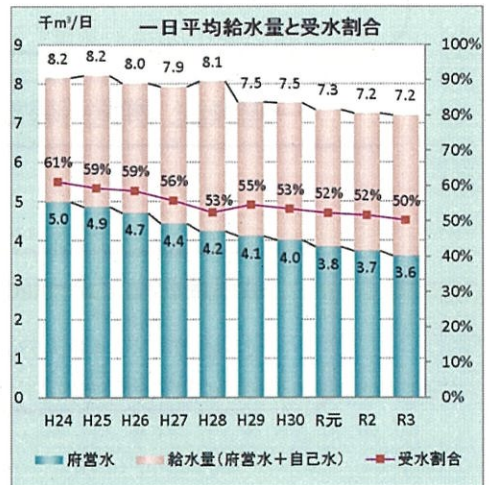
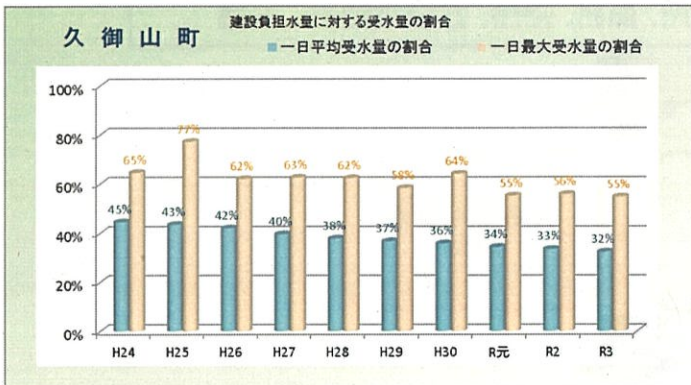
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

(単位: m³/日)

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■受水割合55%程度を維持(分水を除く)		
最大給水量	①ブレンド区域	■需要変動を府営水・自己水で対応 ■全体のピーク日と自己水や府営水のピーク日が異なるため、直近実績から府営水の最大値を採用しつつ、水需要の減少分も加味して推計		

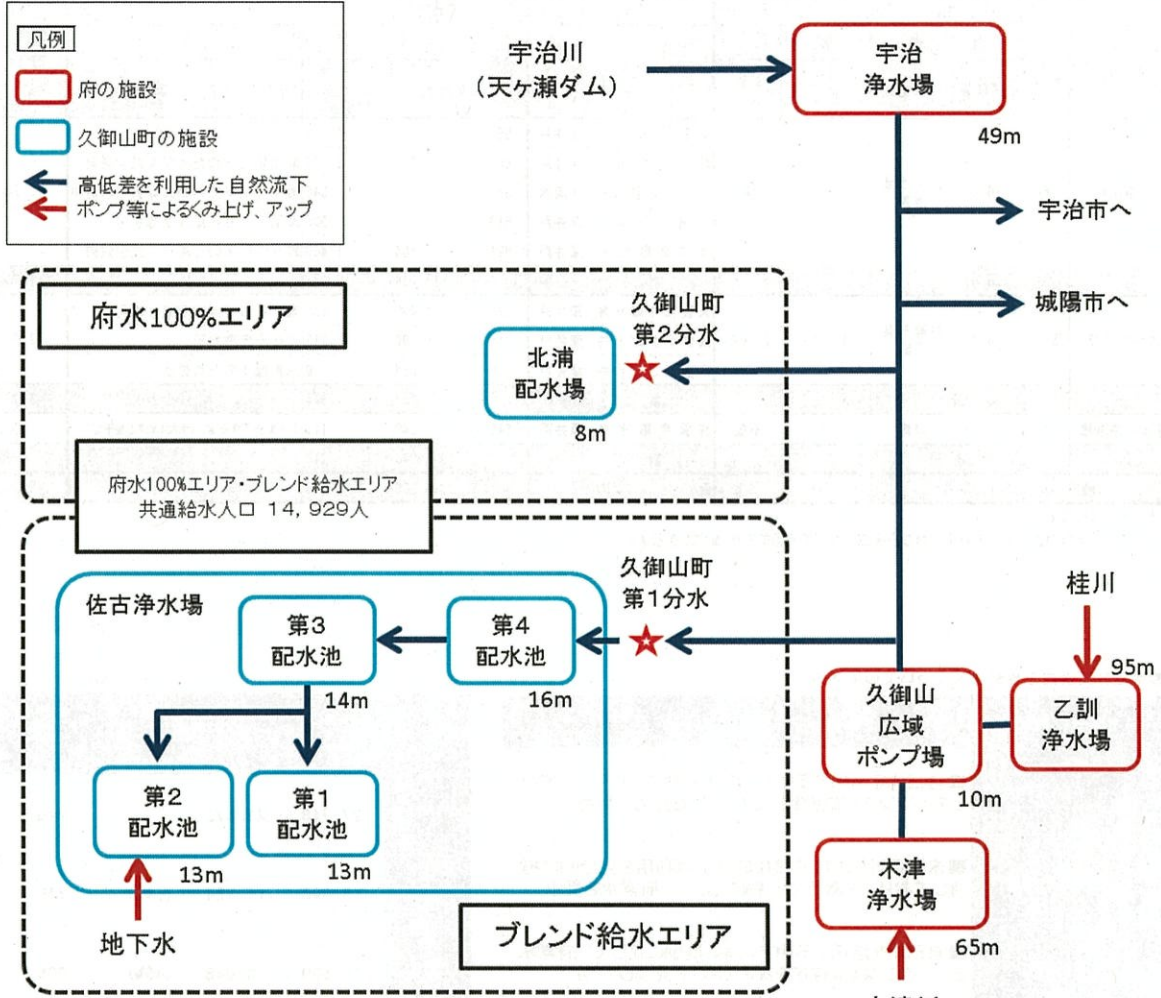
	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	15,200	7,243		48%
自己水	4,000	3,503	(48%)	88%
府営水	11,200	3,740	(52%)	33%

※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水



久御山町の水循環マップ

(令和4年4月1日現在人口)



一般家庭、事業所等で台所、風呂、便所、営業活動等に利用



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

京田辺市

1
2

(単位: m³/日)

浄水場					水源					配水能力 ※2		
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要			
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1	一日平均取水量(R3実績)	状況	
新浄水場	S63	16,623	急速ろ過消毒	OUT	済	浜新田取水井	浅井戸	S60	5,300	1,758	令和3年度に改修により当面安定取水可	
						蔵ノ本取水井	浅井戸	H3	4,008	3,770	取水量低下のため年々減少傾向	
						田辺第2取水井	伏流水	S40	480	340	取水量低下のため改修方法検討中	
						薪第1取水井	深井戸	H19	1,824	1,500	浚渫により当面安定取水可	
						薪第2取水井	深井戸	H21	1,584	1,468	取水量低下のため年々減少傾向	
計		16,623				計		13,196	8,836		12,746	
大住浄水場	S37	4,319	急速ろ過消毒	しない	計画無	大住第1取水井	深井戸	H29	1,490	605	掘替により当面安定取水可	
						大住第2取水井	深井戸	H14	1,700	1,213	当面安定取水可	
						大住第3取水井	深井戸	H7	264	0	水量低下のため休止	
計		4,319				計		3,454	1,818		3,004	
普賢寺浄水場	S47	558	消毒	OK	不要	普賢寺取水井	深井戸	S46	240	111	取水量低下後安定。(令和4年度掘替予定)	240
計		558				計		240	111		240	
合計		21,500				合計		16,890	10,765		15,990	

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力(作業用水を考慮)

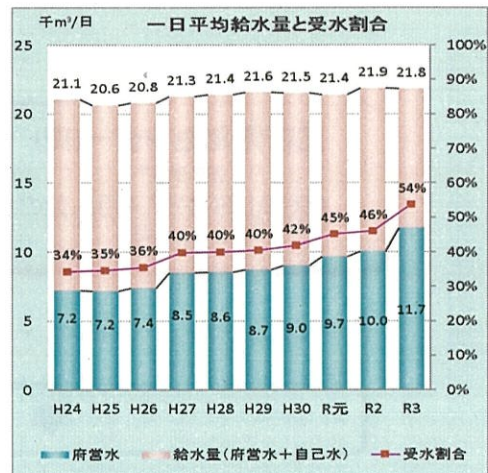
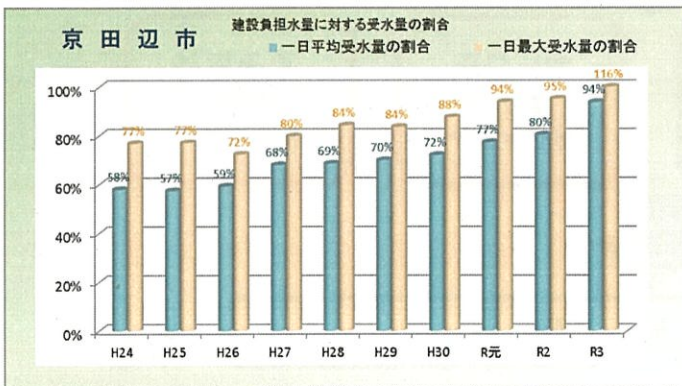
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

(単位: m³/日)

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■自己水を活用する中で、需要変動に応じて、府営水とのバランス(依存度を高める等)を見直し利用		
	②府営水道区域	■未利用地における積極的な土地利用を全庁的に推進しており、水需要の変動に応じて、府営水を受水		
最大給水量	①ブレンド区域	■自己水を活用する中で、需要変動に応じて、府営水とのバランス(依存度を高める等)を見直し利用		
	②府営水道区域	■未利用地における積極的な土地利用を全庁的に推進しており、水需要の変動に応じて、府営水を受水		

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	27,748	21,872		79%
自己水	15,990	11,824	(54%)	74%
府営水	12,500	10,048	(46%)	80%

※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水

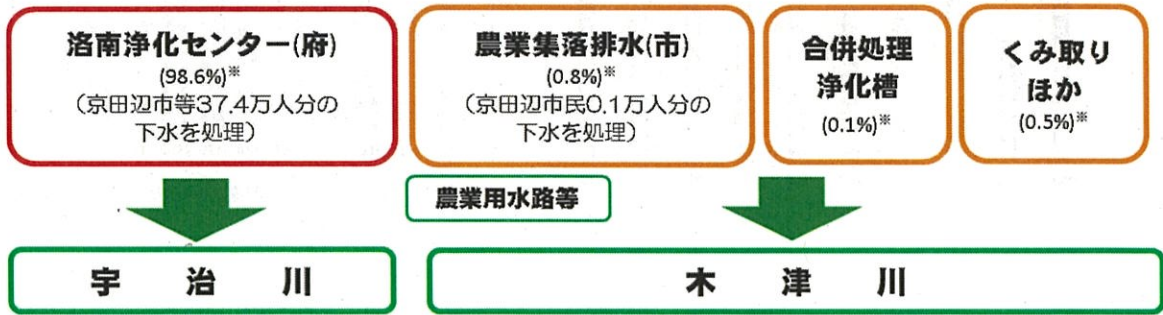
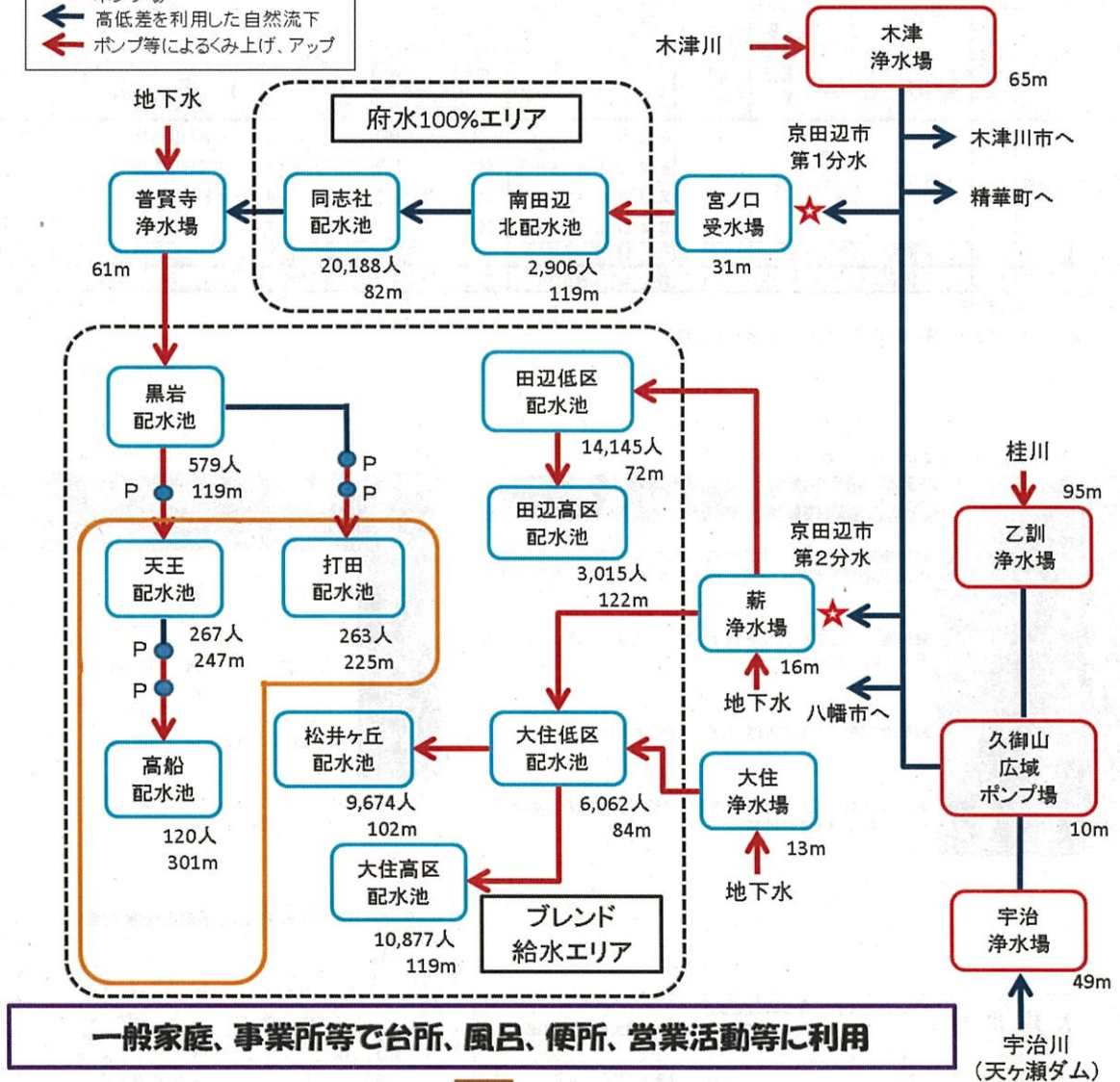


京田辺市の水循環マップ

(令和4年4月1日現在人口)

凡例

- 府の施設
- 京田辺市の施設
- P ポンプ場
- ← 高低差を利用した自然流下
- ← ポンプ等によるくみ上げ、アップ



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

木津川市

1

(単位: m³/日)

浄水場					水源					配水能力 ※2	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要		
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1		一日平均汲上量 (R3実績)
宮ノ裏浄水場	H25	5,300	薬品沈澱 急速ろ過 消毒	OK	済	第1取水井	浅井戸	S11	1,600	1,560	水量・水質的にも安定
						第2取水井	浅井戸	S41	2,000	2,262	水量・水質的にも安定
						第3取水井	浅井戸	S47	1,800	1,190	水量・水質的にも安定
						第4取水井	深井戸	S61			廃止
計		5,300				計			5,400	5,012	
合計		5,300				合計			5,400	5,012	5,300

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

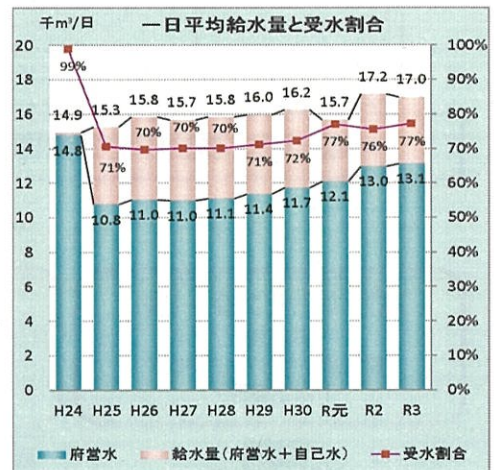
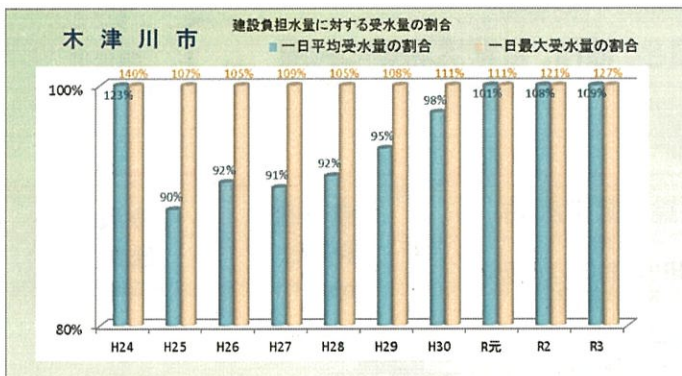
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■需要に応じて府営水及び自己水で給水(城山台地域等) ■加茂地域も含めて災害に備えた水運用のあり方を検討中		
	②府営水道区域	■需要に応じて府営水を給水(兜台、相楽台、木津川台、梅美台、州見台地域)		
最大給水量	①ブレンド区域	■需要変動に応じて府営水及び自己水で給水		
	②府営水道区域	■需要変動に応じて府営水を給水(兜台、相楽台、木津川台、梅美台、州見台地域)		

(単位: m³/日)

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	17,300	17,158		99%
自己水	5,300	4,184	(24%)	79%
府営水	12,000	12,974	(76%)	108%

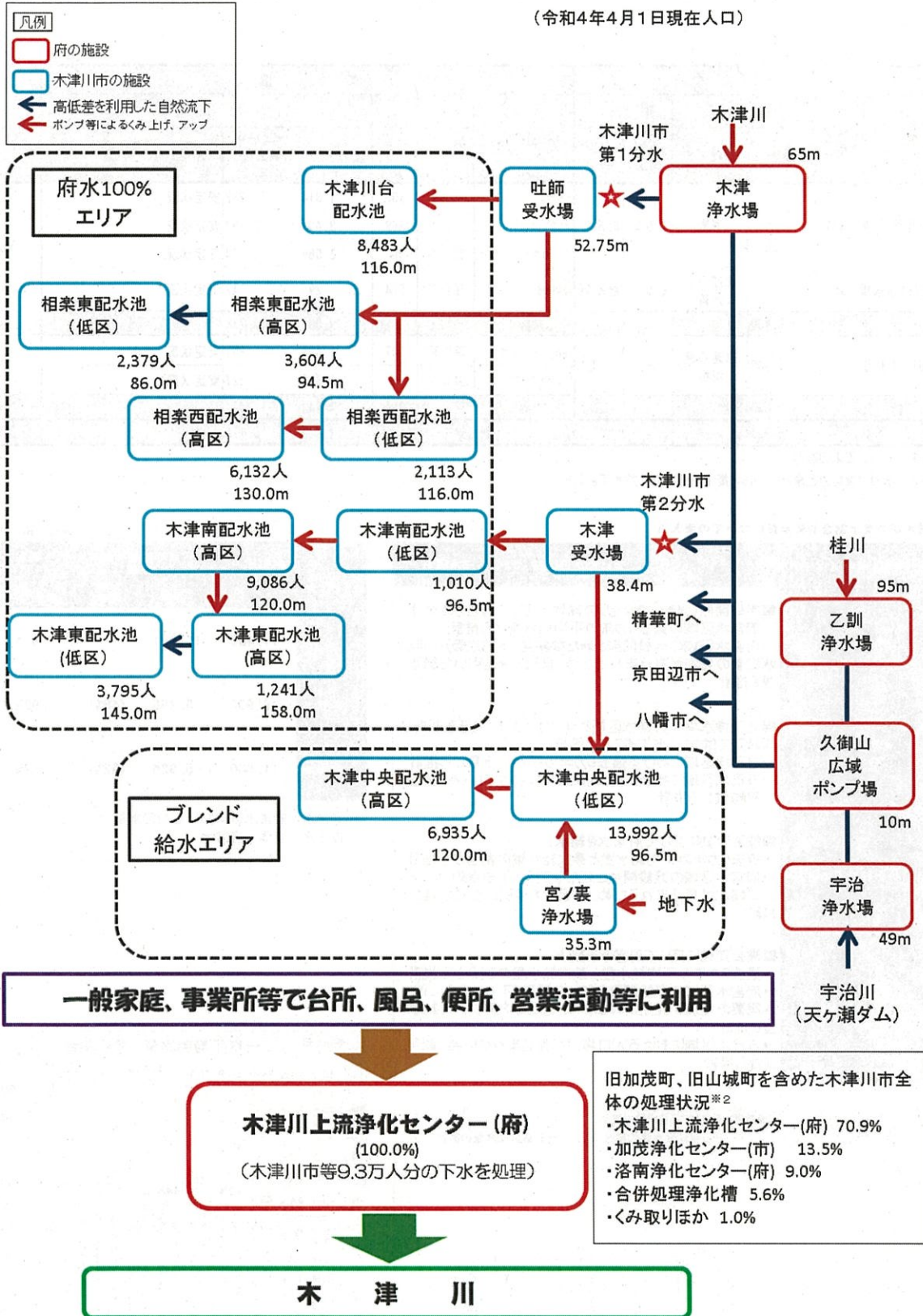
※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水



1
2

木津川市（旧木津町^{※1}）の水循環マップ

（令和4年4月1日現在人口）



※1 府営水道の供給は旧木津町域のみ

※2 出典：京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

精華町

1

(単位: m³/日)

浄水場					水源					配水能力 ※2	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要		
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1		一日平均汲上量(R3実績)
北稲浄水場	S34	5,400	消毒	しない	計画無	北稲取水ポンプ1-1	深井戸	S33	1,814	232	安定状況
						北稲取水ポンプ1-2	深井戸	S62	3,405	2,893	安定状況
						北稲取水ポンプ2号	深井戸	H4	3,569	1,564	安定状況
旭第1浄水場	S54		急速ろ過消毒	しない	計画無	旭第1号取水ポンプ	深井戸	S54	294	49	安定状況
計		5,400				計		9,082	4,738		5,400
柘榴浄水場	H9	500	急速ろ過消毒	OK	不要	柘榴取水ポンプ1	深井戸	S47	1,434	207	安定状況
						柘榴取水ポンプ1-1	深井戸	H9	1,814	227	安定状況
計		500				計		3,248	434		500
合計		5,900				合計		12,330	5,172		5,900

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

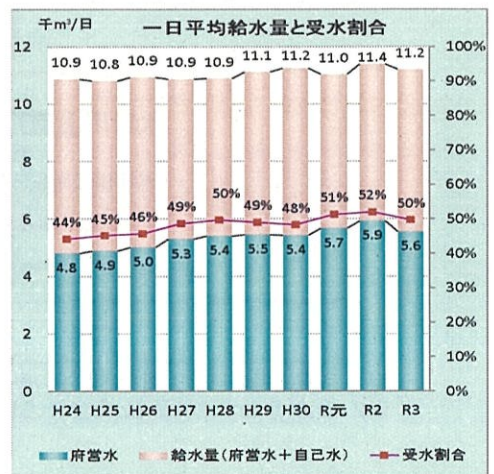
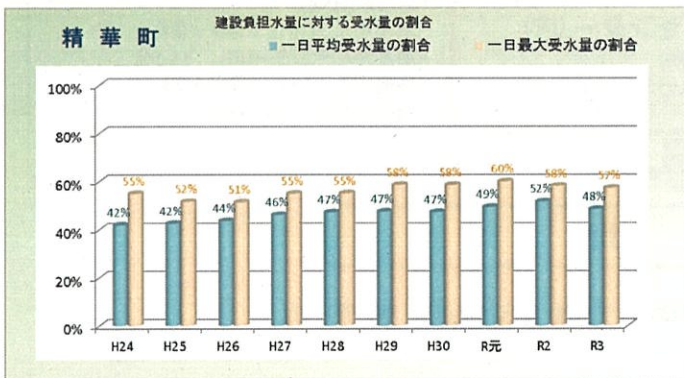
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況	①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	②府営水道区域	■学研開発(光台・精華町)の需要に応じて府営水を給水 →府営水区域の過去5カ年の平均給水量から推計 →府営水区域の既設開発と新たな開発(下粕京阪)に伴い水需要の増加が見込まれるため、自己水を差引いた給水量を推計	
	③自己水区域	■北稲浄水場は府営水区域と自己水区域に高低差があり現段階ではブレンドすることが困難 →自己水区域における過去5カ年の平均給水量から推計 →自己水区域における人口増加が見込まれない為、過去の平均値から推計	
最大給水量	②府営水道区域	■需要変動に応じて府営水を給水 →過去5カ年の平均給水量と最大給水量の割合から推計 →府営水区域の既設開発と新たな開発(下粕京阪)に伴い人口増加が見込まれるため、自己水を差引いた給水量を推計	
	③自己水区域	■需要変動に応じて府営水を給水 →過去5カ年の平均給水量と最大給水量の割合から推計 →府営水区域の既設開発と新たな開発(下粕京阪)に伴い水需要の増加が見込まれるため、自己水を差引いた給水量を推計 →自己水区域における人口増加が見込まれない為、認可値から推計	

(単位: m³/日)

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	17,400	11,391		65%
自己水	5,900	5,465	(48%)	93%
府営水	11,500	5,926	(52%)	52%

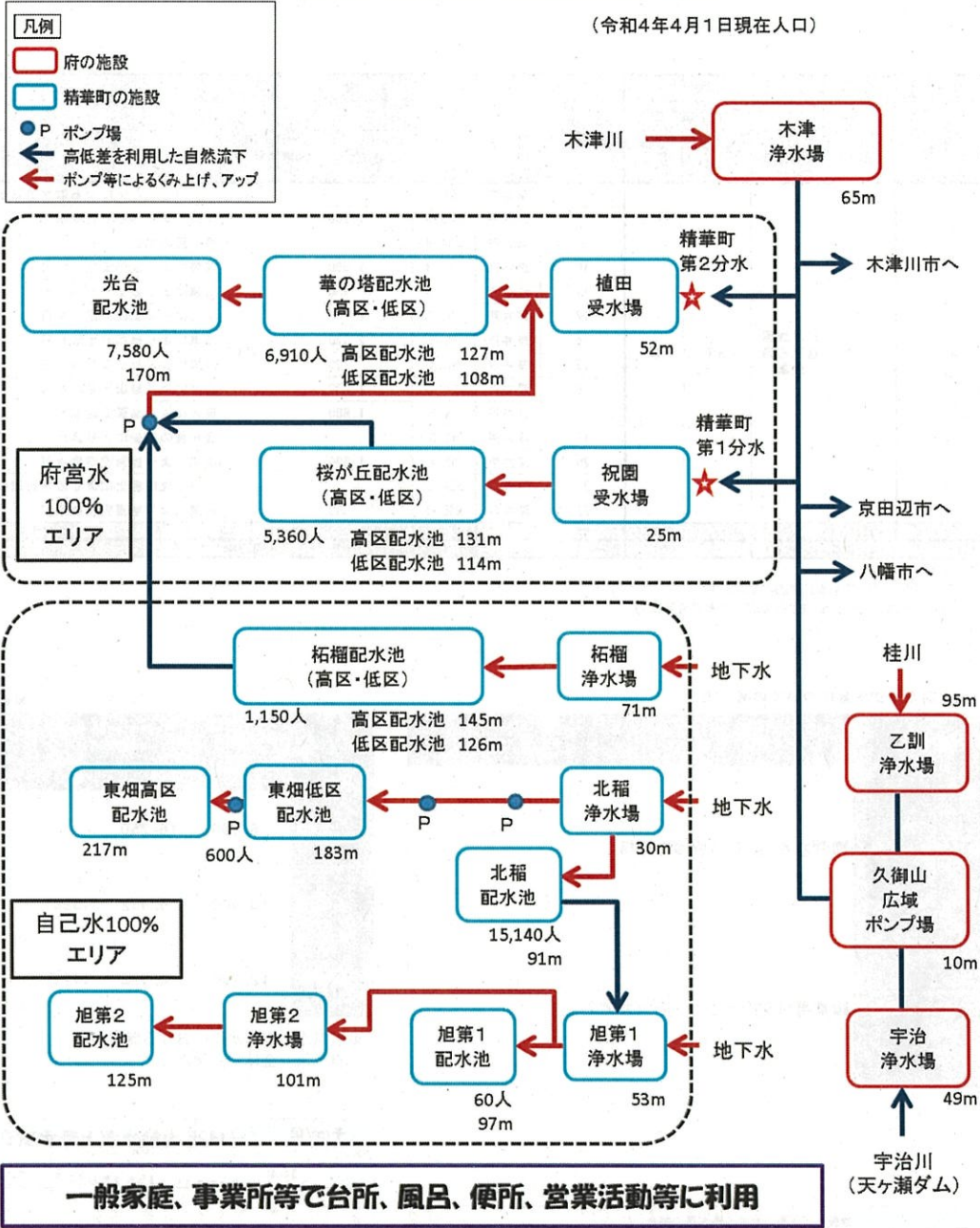
※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水



1
2

精華町の水循環マップ

(令和4年4月1日現在人口)



※ 出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

向日市

1

(単位: m³/日)

浄水場					水源					配水能力 ※3			
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要				
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力 ^{※1}		一日平均汲上量 ^{※2}	状況	
物集女西浄水場	S45.2	21,000	薬品沈澱 急速ろ過 消毒	OUT	済	5	深井戸	S59.12	8,724	ポンプ性能劣化による取水量減少 炭素により当面安定取水可	13,400		
						7	深井戸	S63.6				1,200	揚水量の減少により休止
						9	深井戸	S54.9				1,000	炭素により当面安定取水可
						10	深井戸	S57.8				960	炭素により当面安定取水可
						11	深井戸	S61.3				1,730	炭素により当面安定取水可
						12	深井戸	S59.8				2,020	炭素により当面安定取水可
						14	深井戸	H3.3				790	炭素により当面安定取水可
						15	深井戸	H6.4				1,270	炭素により当面安定取水可
						16	深井戸	H2.1				1,680	炭素により当面安定取水可
						17	深井戸	H4.3				1,390	揚水量の減少により休止
						18	深井戸	H5.3				炭素により当面安定取水可	
						20	深井戸	H8.4				炭素により当面安定取水可	
						21	深井戸	S54.3				炭素により当面安定取水可	
22	深井戸	H元.3	980	ポンプ性能劣化による取水量減少 炭素により当面安定取水可									
計		21,000			計			13,020	8,724	13,400			
合	計	21,000			合	計		13,020	8,724	13,400			

※1 令和3年度末の能力
 ※2 令和3年度に稼働している取水井戸の総量の日割
 ※3 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

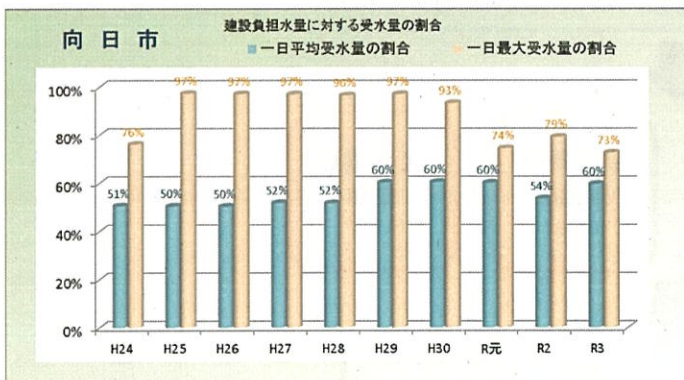
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

(単位: m³/日)

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■受水割合50%程度を維持		
最大給水量	①ブレンド区域	■需要変動を自己水・府営水で対応		

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設 利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	26,100	16,250		62%
自己水	13,400	9,452	(58%)	71%
府営水	12,700	6,798	(42%)	54%

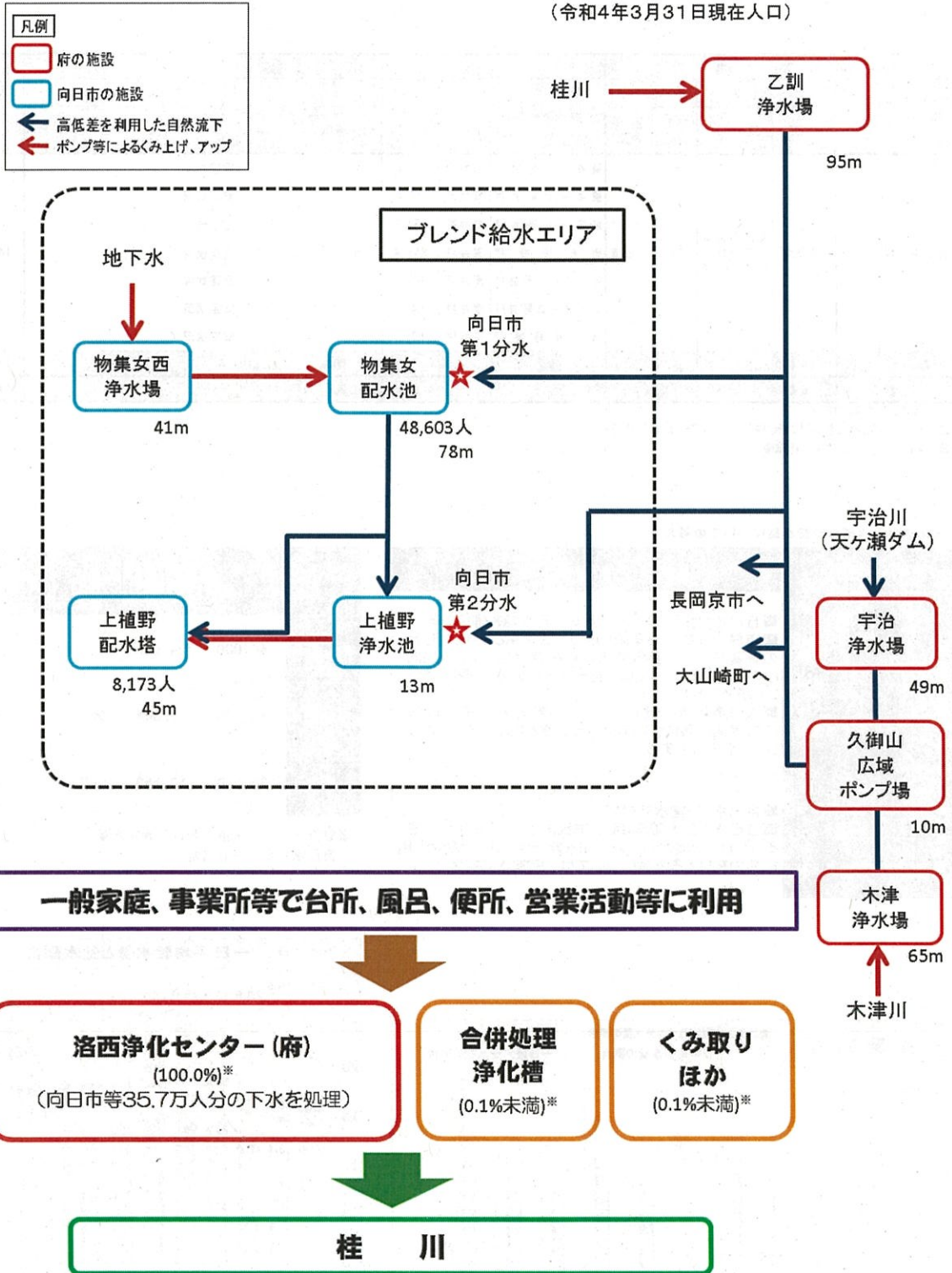
※府営水：府営水道における測定水量
 自己水＝全体－府営水



1
2

向日市の水循環マップ

(令和4年3月31日現在人口)



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

長岡京市

1

(単位: m³/日)

浄水場						水源						配水能力 ※2
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要		状況	
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1	一日平均汲上量(R3実績)		
東第2浄水場	S57.5	16,000	急速ろ過消毒及び紫外線処理	OK	一部済	東4-1号井戸	深井戸	S48.11	14,000	11,510	安定状況	14,000
						東4-2号井戸	深井戸	H6.1			安定状況	
						東5-2号井戸	深井戸	S54.3			安定状況※3	
						東6号井戸	深井戸	S51.4			安定状況※3	
						東13-1号井戸	深井戸	H3.8			安定状況	
						東13-2号井戸	深井戸	H4.7			安定状況	
						東14号井戸	深井戸	H7.1			安定状況	
計		16,000			計			14,000	11,510		14,000	
合計		16,000			合計			14,000	11,510		14,000	

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

※3 平成28年12月より再稼働

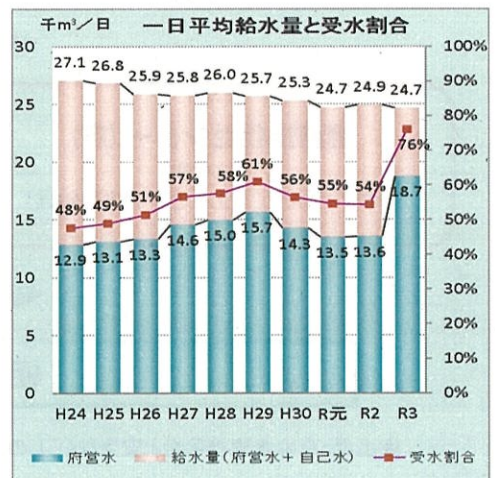
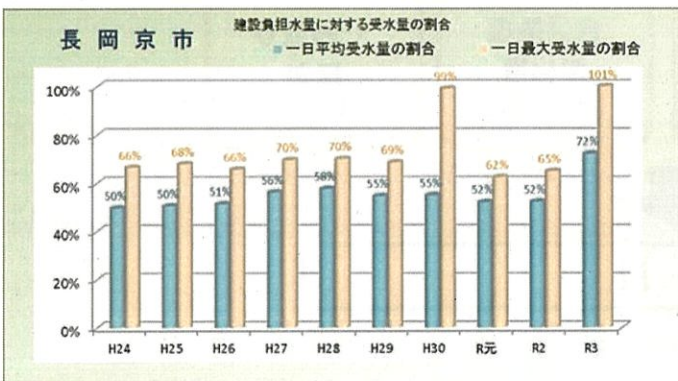
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	<ul style="list-style-type: none"> ■自己水(地下水)と府営水の2元水源を維持する ■市民からの「できる限り地下水を使用してほしい」との要望があり、「長岡京市水道事業懇談会」で市民向けの水道水については、自己水と府営水50%のブレンドが示された ■大口事業所(5社)へは100%府営水を、それ以外の市民向け等については、自己水と府営水50%のブレンド水を給水する 		
	②府営水道区域	<ul style="list-style-type: none"> ■自己水・府営水で対応 ■自己水を最大限活用し、市民向けについては、できる限り自己水50%のブレンドを維持するように努め、施設能力を超える水量については、府営水で対応 		
最大給水量	①ブレンド区域	<ul style="list-style-type: none"> ■自己水・府営水で対応 ■自己水を最大限活用し、市民向けについては、できる限り自己水50%のブレンドを維持するように努め、施設能力を超える水量については、府営水で対応 		
	②府営水道区域	<ul style="list-style-type: none"> ■自己水・府営水で対応 ■自己水を最大限活用し、市民向けについては、できる限り自己水50%のブレンドを維持するように努め、施設能力を超える水量については、府営水で対応 		

(単位: m³/日)

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全 体	40,000	24,943		62%
自己水	14,000	11,384	(46%)	81%
府営水	26,000	13,559	(54%)	52%

※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水

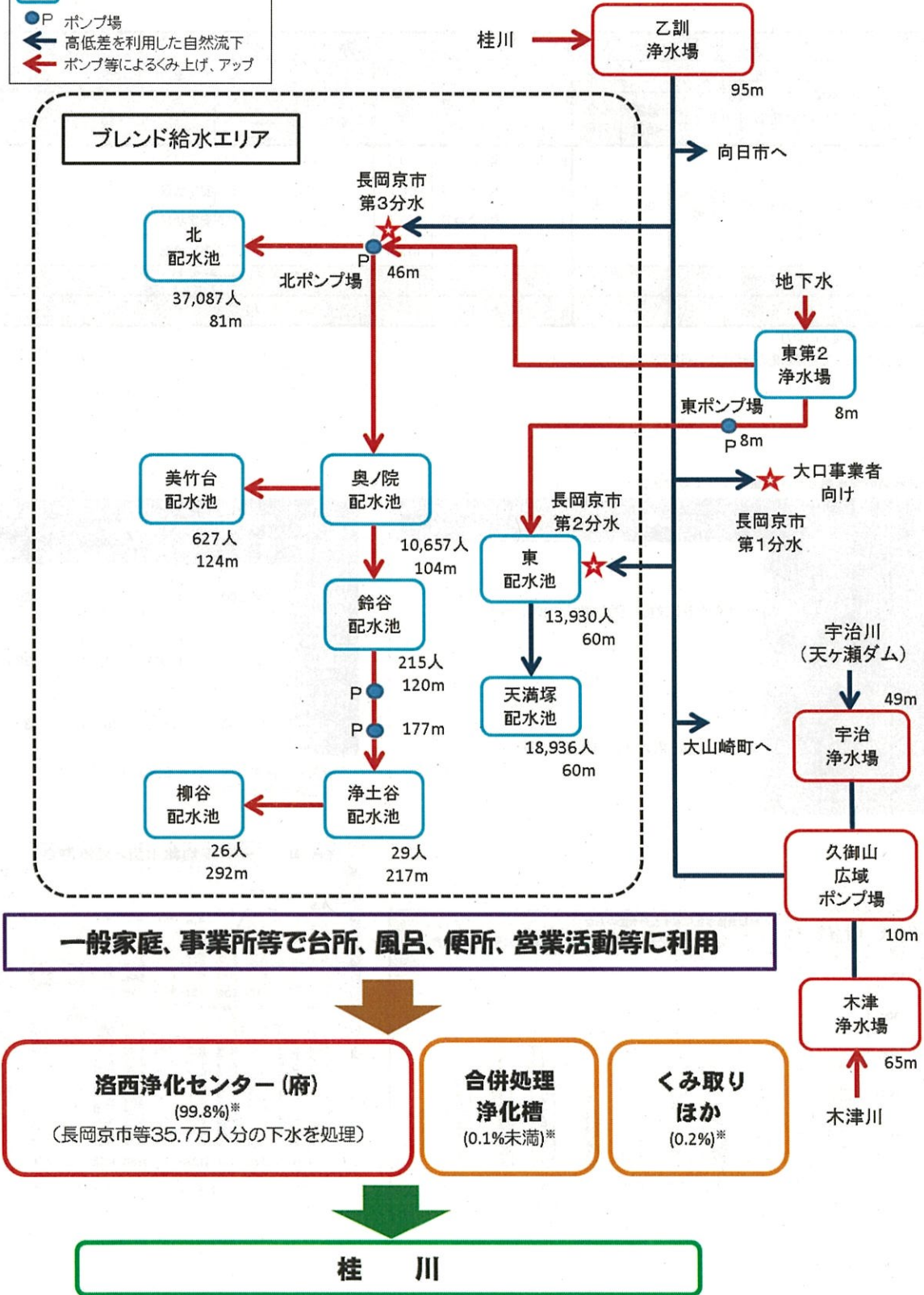


1
2

長岡京市の水循環マップ

(令和4年4月1日現在人口)

- 凡例
- 府の施設
 - 長岡京市の施設
 - P ポンプ場
 - ← 高低差を利用した自然流下
 - ← ポンプ等によるくみ上げ、アップ



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

大山崎町

1

(単位: m³/日)

浄水場						水源					配水能力 ※2	
名称	稼働年月	概要		耐震化		井戸名	種別	稼働年月	概要			
		施設能力	処理方式	診断結果	耐震対策				実能力※1	一日平均汲上量(R3実績)		状況
夏目浄水場	S49.2	5,000	急速ろ過消毒	OUT	未	8号	深井戸	S49.2	1,440	532	安定状況	5,000
						10号	深井戸	H7.7	1,440	505	安定状況	
						11号	深井戸	S55.6	1,680	630	安定状況	
						14号	深井戸	H13.4	1,680	703	安定状況	
計		5,000				計			6,240	2,370		5,000
合計		5,000				合計			6,240	2,370		5,000

※1 令和3年度末の能力

※2 水源の実能力と浄水場の施設能力から実際に給水できる能力

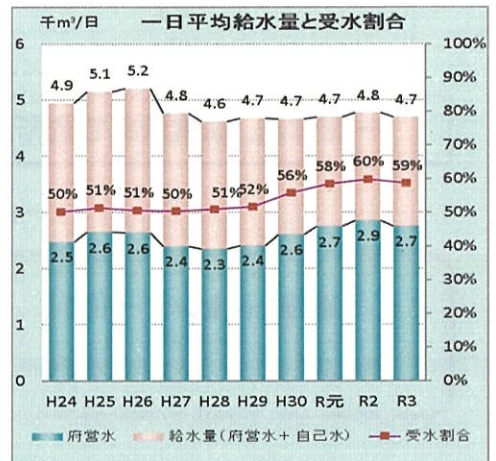
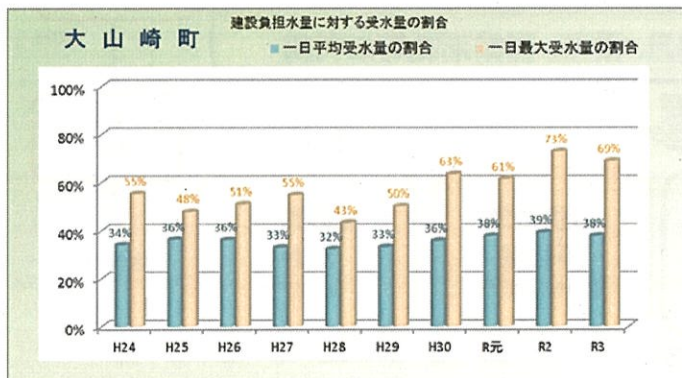
府営水道の受水割合や受水量についての考え方

給水区域の状況		①ブレンド区域	②府営水道区域	③自己水区域
平均給水量	①ブレンド区域	■需要水量に対し、受水割合を概ね50%で受水		
最大給水量	①ブレンド区域	■需要変動を府営水と自己水で対応		

(単位: m³/日)

	配水能力 ①	一日平均給水量 (R2実績)		施設利用率 ②/①
		②	(割合)	
全体	12,300	4,771		39%
自己水	5,000	1,919	(40%)	38%
府営水	7,300	2,852	(60%)	39%

※府営水: 府営水道における測定水量
自己水=全体-府営水

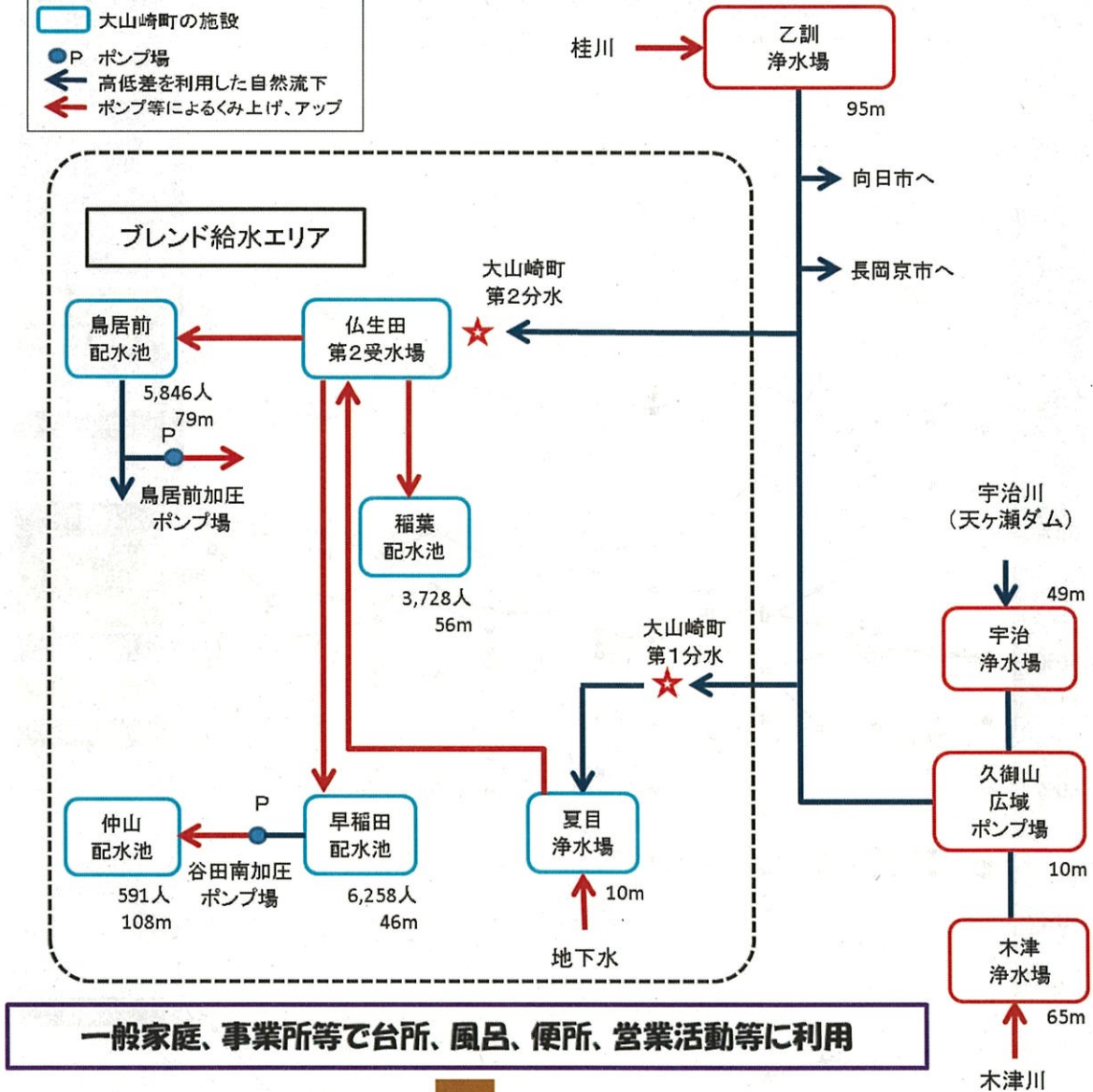


大山崎町の水循環マップ

(令和4年4月1日現在人口)

凡例

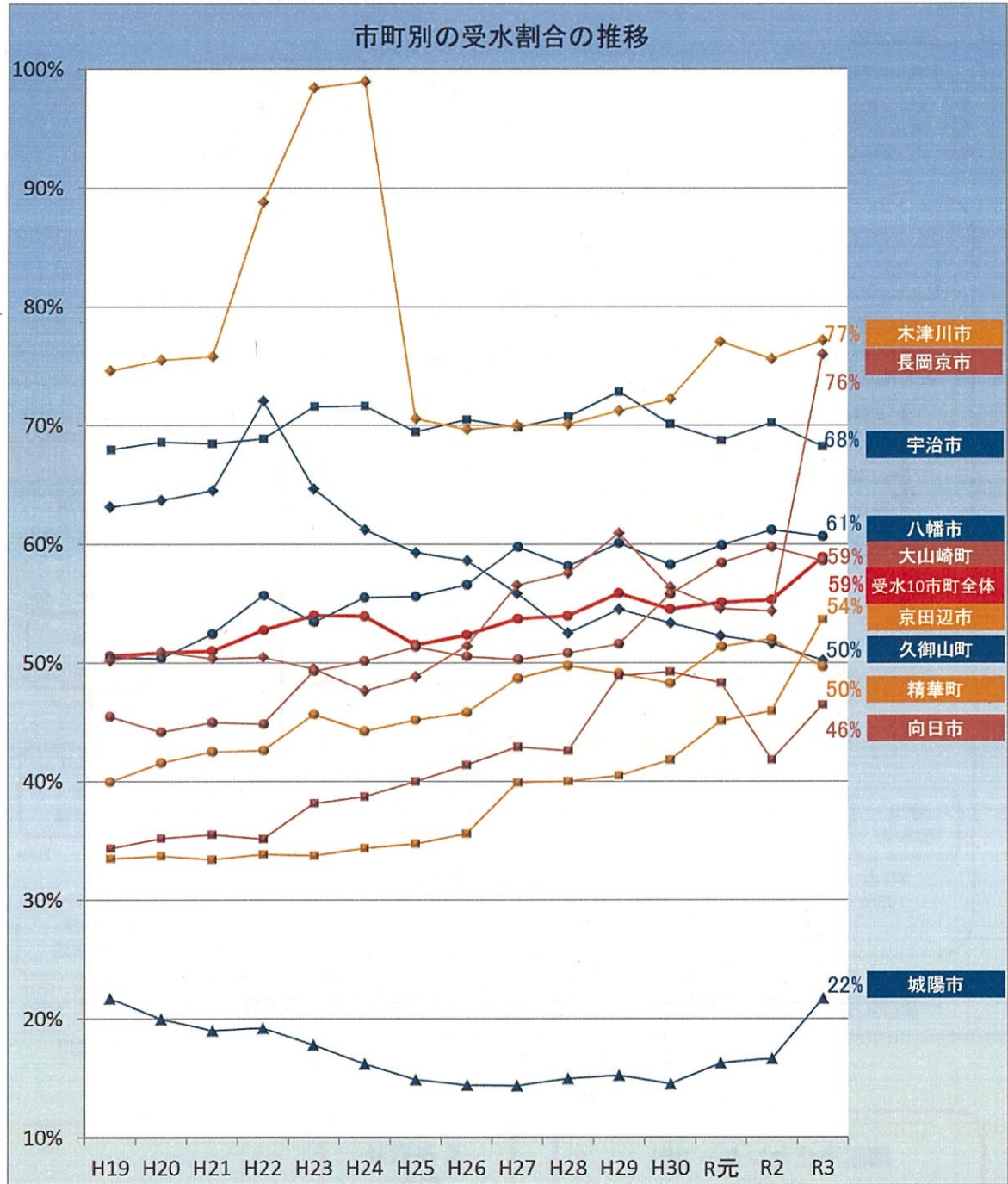
- 府の施設
- 大山崎町の施設
- P ポンプ場
- 高低差を利用した自然流下
- ポンプ等によるくみ上げ、アップ



※出典: 京の水環境保全と安全な暮らしのために(下水道・農業集落排水・浄化槽)2021

1
2

受水市町別の受水割合の推移



3
4
5
6
7
8

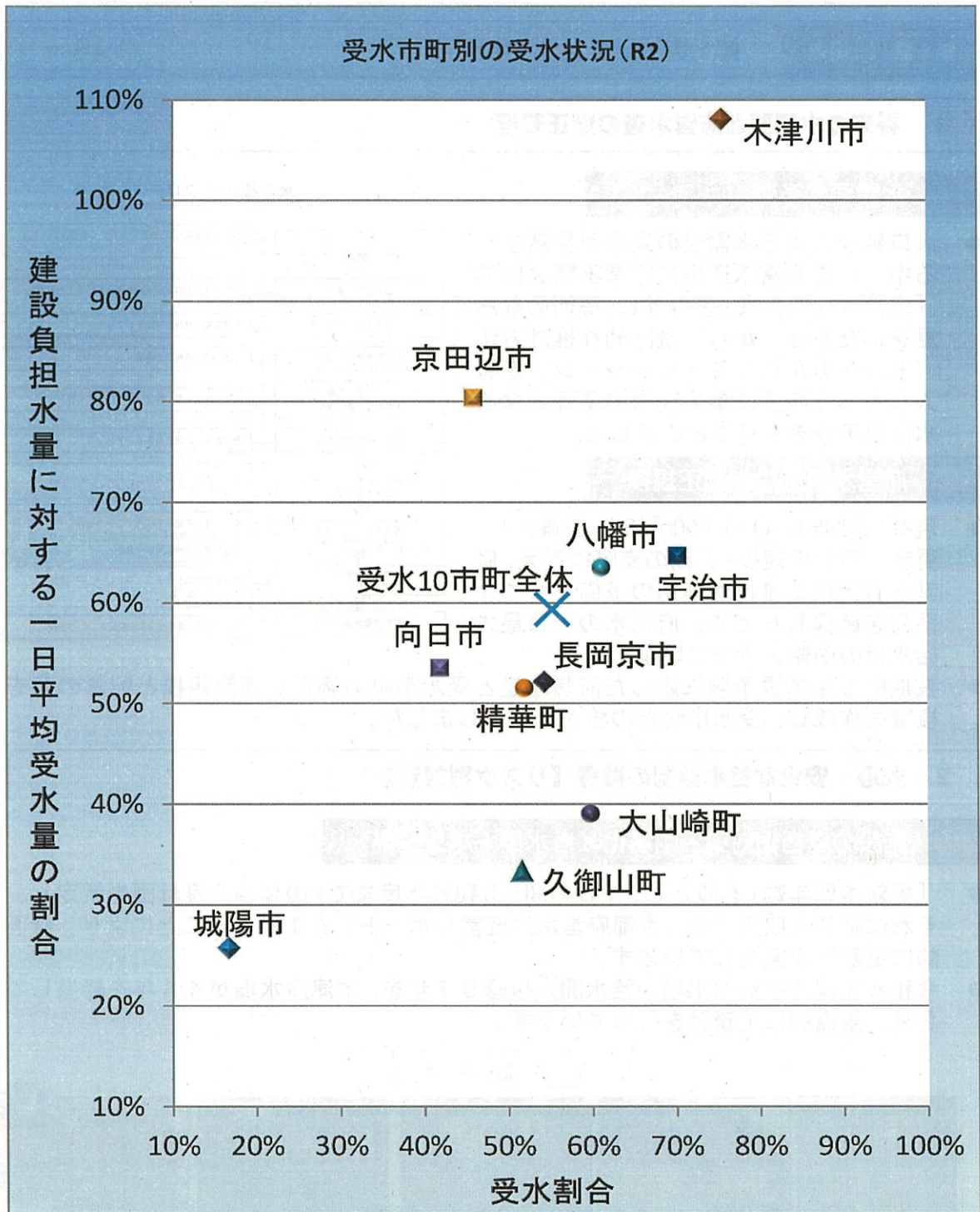
※ 受水割合：一日平均受水量(府営水)/一日平均給水量

※ 木津川市は旧木津町の水量

※ 八幡市・久御山町においては、平成22年度に、木津川市においては平成22年度から平成24年度まで、京田辺市・長岡京市においては令和3年度に施設改修工事を行っており、一時的に府営水を増量

1
2

建設負担水量に対する実供給水量の割合



- 3 ※ 建設負担水量に対する一日平均受水量の割合：一日平均受水量/建設負担水量
- 4 ※ 受水割合：一日平均受水量(府営水)/一日平均給水量
- 5 ※ 令和3年度は京田辺市及び長岡京市において施設改修工事を実施しており、一時的に府営水道を増量したことから令和2年度実績を採用
- 6